

東部保健所

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和4年12月27日

都道府県知事
(市長)

殿

提出者 別府市大字野田906番地
有限会社 明興社
住所 代表取締役 成水皇寿
氏名 TEL 67-7868
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0977-67-7868

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有) 明興社
事業場の所在地	別府市野田906
計画期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業
②事業の規模	4800万円
③従業員数	5人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	解体工事 ・かぶり類(コンクリート塊) → 再生処理業者に委託して、再生砕石として再資源化 ・木くず → 再生処理業者に委託して、チップ(合材用、燃燃料用)として再資源化 道路建設工事(舗装工事) → 再生処理業者に委託して再生骨材として再資源化



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

統括責任者 代表取締役
成水 皇寿

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和2年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	かれま類	木くず
	排出量	975.41 t	667.87 t
	(これまでに実施した取組) 再生処分場への搬入		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	かれま類	木くず
	排出量	975.41 t	667.87 t
	(今後実施する予定の取組) 再生処分場への搬入		

その他
42,243

その他
42,243

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) かれま類(コンクリート塊、アスベスト塊) 木くずは分別せずとも 石炭含有産業廃棄物にかきこも、他の廃棄物に混入しないよう確実に 分別、保管を完了
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記に加え、石膏ボード、金屑くず、紙くずにつき分別を実施

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	かみき類	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	60 t	t
	(これまでに実施した取組) 自社所有の破砕機に処理		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	かみき類	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	60 t	t
	(今後実施する予定の取組) 自社所有の破砕機に処理		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度 (年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	/
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	/
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度 (年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	かみり類
	全処理委託量	9/5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(これまでに実施した取組) 委託基準に従って産業廃棄物を委託する業者を認定し書面による契約を実施している。	

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	かみき類	
	全処理委託量	9/5 225 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量		t
	再生利用業者への 処理委託量		t
	認定熱回収業者への 処理委託量		t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t
(今後実施する予定の取組) ・可能な限り、優良認定処理業者から選定する。 ・電子マネー導入を進め、電子マネー対応可能な処理業者から選定する。 ・委託先処理業者には定期的な現地確認を実施する。 ・自社破砕機(クラッシャー)により処理する。			
※事務処理欄			